

忠犬ハチ公像とともに駅前を見守ってきた渋谷の象徴
ハチ公広場「青ガエル観光案内所」移設プロジェクト始動！
忠犬ハチ公生誕の地・秋田県大館市へ活躍の場を移し、さらなる観光客の誘致へ



このたび、渋谷区が所有し、渋谷区観光協会が渋谷駅前で運営しているハチ公広場「青ガエル観光案内所」を2020年6月上旬での秋田県大館市への移設に向けて両市区が共同で取り組むことが決まり、2月9日大館市にて記者発表会を開催いたしました。

100年に一度と言われる大規模再開発により、大きな変化を迎えている渋谷。2006年より渋谷の街を見守ってきた「青ガエル」の今後の活用が模索されてきたなか、忠犬ハチ公を縁として交流を続ける大館市に誕生した「秋田犬の里」をあらたな活躍の場にして、両市区の親交の象徴としての活用を目指します。

移設後の活用については、渋谷区と大館市との交流のモニュメントとして、交流のきっかけとなった忠犬ハチ公を中心に渋谷と大館の歴史変遷を展示し、座席シートを施設来場者の休憩場所として開放する予定です。

渋谷区では、忠犬ハチ公像とともに渋谷駅前の象徴となっている「青ガエル」の移設により、大館市との繋がりを強化し、同市の忠犬ハチ公のふる里としての知名度を高めるとともに、さらなる観光客の誘致に繋がることを期待しております。

ハチ公広場「青ガエル観光案内所」移設概要

■ 予定設置場所： 秋田県大館市 秋田県大館市御成町1丁目13番地1号
大館市観光交流施設「秋田犬の里」の芝生広場・南側

■ 今後のスケジュール（予定）

- ・2020年5月下旬～6月上旬 ハチ公広場から搬出・運搬・移転作業実施
- ・2020年7月 大館市による供用開始



「復元された旧 5000 系車両」
撮影年：1993 年 提供：東急株式会社
撮影者：阿部龍浩



2月9日（日）青ガエルプロジェクト
渋谷区・大館市 共同発表記者会見の様子

ハチ公広場「青ガエル観光案内所」とは

現在、渋谷駅ハチ公広場に設置されている「青ガエル(旧 5000 系)」は、渋谷に本社を置く東京急行電鉄株式会社（現：東急株式会社）が、1954 年（昭和 29 年）から 1986 年（昭和 61 年）までの間、運用していた鉄道車両です。

運行当時より、緑の塗装と丸みを帯びた愛嬌のある車両外観から「青ガエル」の愛称で親しまれ、新車両への置換えによる退役後も、長野、熊本、福島などの鉄道会社が同車両を譲り受けて各地で長く運用されてきました。

「青ガエル」は、東急電鉄が運用終了後に保存していた車両を、2006 年（平成 18 年）に渋谷区が譲り受け、渋谷駅の象徴的なモニュメントとして設置したもので、現在は観光案内所としてその役割を担っています。

- 設置場所：ハチ公広場
- サイズ：全長 11.22 メートル、重さ約 11 トン
- 設置時期：2006 年 10 月～（2020 年 6 月大館市に移設予定）

—本件に関する問い合わせ—

一般財団法人渋谷区観光協会 広報担当：小池

TEL：03-3462-8311 FAX：03-3462-8312 MAIL：pr@play-shibuya.com

渋谷区区民部商工観光課商工観光係

TEL:03-3463-1762 FAX:03-3463-3528 MAIL：kanko@shibuya.tokyo